



桜小学校だより

R7. 2. 4

まとめの3学期

8日（水）から3学期が始まりました。寒さ対策と感染症予防のために、始業式はズームで行いました。

始業式の中で、「今年はへび年です。へびは修行して成長し、龍神になるという言い伝えがあります。「修業」は、「努力」と言い換えることができます。相手に対するやさしい心とへこたれない強い心を持ち、努力して成長する3学期にしましょう。」と子どもたちに話しました。

3学期は日数こそ少ないのですが、学年のまとめをする大切な時期です。一日一日を大事にしていきたいと考えています。



いのちの授業

16日（木）、1年生の各学級で命の授業が行われました。講師として、今年も先生にお世話になりました。

やさしい口調で、わかりやすくお話しされ、赤ちゃんの人形をだっこする体験もさせていただきました。新生児とほぼ同じくらいの大きさと重さで、首もすわっていないリアルな赤ちゃんをだっこし、「思っていたより重い」「おとしそうで怖い」「大切にだっこしなきゃ」と、さまざまな声が聞かれました。担任の先生の中からは、「この感触、久しぶりで懐かしい」という感想もありました。

一人ひとりの命（からだも）が大切なこと、自分以外の命も大切なこと、命を守ることなどを、1年生の発達段階に合わせてていねいに教えてくださった授業でした。



なわとび記録会

1月最終週には、各学年のなわとび記録会が行われました。どの児童も、自分がエントリーした種目に真剣に挑みがんばっている姿が印象的でした。また、どの学年も、種目だけではなく、開閉会式での進行、あいさつ、発表、聞く態度が大変立派でした。

高学年では、5年生が最後に行ったなわとびリレーや6年生の長なわなど、クラス対抗の種目もあって大変盛り上がりました。勝敗だけにこだわらない、クラスの結束した様子が見られた場面でした。



先生方も学び続けています

毎年行われている郡山市公立学校教職員研究物展に、今年も出品しました。

「確かな学力を身につけた心豊かな桜っ子の育成」という主題のもと、各学級で研究授業を行い、議論しながら、よりよい授業の構築や子ども達の育成について研究を重ねてきました。今年は、「特選」及び特別賞として「吾峰会賞」を受賞しました。（吾峰会賞は、特別賞の中で最も優れた研究に贈られる賞です。）

「自ら学び、自ら考え、判断して行動するとともに、他者と協働していく子ども」を育て、「自分の人生を切り拓いていく力」を養っていくために、教師自身が学び続けるということを大切に取り組んできました。2月5日の表彰式には、本校の研究主任が出席します。

母ありがとうございました母

一夜明けて雪景色が広がっていた1月10日（金）、子ども達の登校前に、校庭の通路部分の雪掃きをしてくださっていたお父さんがいらっしゃいました。職員も雪掃きをしていたためお名前を聞かずじまいでしたが、この場をお借りし御礼申し上げます。寒い中、早朝よりありがとうございました。

